

平成 24 年度

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP)

大阪市立大学による「火山と地球ダイナミクス」講座

企画紹介

平成 24 年 8 月 17 日・18 日の 2 日間、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が支援を行う、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) に採択された「火山と地球ダイナミクス」講座を実施し、特進 (理系) コースの生徒たちが参加しました。

講師は、大阪市立大学 理学部 地球学科 栗谷 豪 准教授にいただきました。

1 日目の午前は、「地球の内部について知ろう」というテーマで、「地球の誕生・進化」についての講義とマントルと地殻の岩石の観察と密度の測定実験を行いました。地球誕生から現在の地球の層構造形成について、学びました。



午後は、「火山について知ろう」というテーマで、火山岩やマグマの性質と噴火様式について、噴火のビデオを見ながら講義を受けました。火山は人間に温泉や鉱物などの恩恵を与えてくれる一方で火山災害によって、多くの人命を奪ってきていることも学びました。後半では、火山の航空写真を立体視鏡を用いて、火山地形について学びました。



2日目は、奈良県の二上山地域周辺の巡見を行いました。天然記念物「どんづる峯」では、層状に堆積した火砕流堆積物が大変きれいな凝灰岩層を形成しているのを観察しました。当日は天気もよく気温も上がりましたが、参加者は汗を流しながら講師の栗谷准教授の講義を現場で聞いて、岩石や鉱物、そして地形などの観察を行いました。この地域では、ガーネットの含まれる流紋岩が産し、生徒たちはガーネット探しに夢中になるものもいました。どんづる峯の麓では石器の材料になったサヌカイト(カンカン石)の採取も行い、学校に持ち帰ってきました。



2日間の講座でしたが、野外調査などもあり大変有意義な時間を過ごすことができました。また、教室の中だけで学ぶことのできない貴重な体験と教室の中での学習が結びついていることが理解できました。栗谷先生ありがとうございました。

(報告・文責 : 教諭 中野俊夫)